



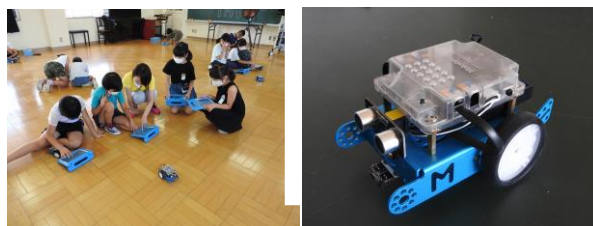
開物成務

文部科学大臣メッセージ

現在の新型コロナウイルスに関する状況を受け、文部科学大臣からのメッセージが届きました。児童生徒向け、保護者向けのメッセージには、差別や偏見、誹謗中傷等により、辛い思いをする方が出ないようにとの願いが書かれています。その中に「人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります」との言葉があります。子どもたちには、2学期の始業式でも相手を思う思いやりの心の大切さを話しました。今回のメッセージも担任から児童に思いを持って伝えました。皆さん、このような時だからこそ温かい心を持ってみんなでコロナ禍を乗り越えていきましょう。
(保護者メッセージを掲載いたしました。是非お読みください。)

「mBot」を使用したプログラミング学習

郡山市では、本年度より、プログラミング学習を「教科」(3年生以上)として、新たな枠組みの中で取り組んでいます。全国に先駆けての取組です。児童一人一人に論理的思考力を身に付けさせ、各教科の学びに生かすことをねらいとしています。写真は、教材「mBot」(エムボット)に5年生が取り組んでいる様子です。子どもたちは、ロボットにプログラミングで命令を与え、指定された動作を行わせることに挑戦しました。指定された動きとなるように友達とともに試行錯誤。思うように動かないロボットに苦戦する場面もありましたが、歓声をあげながら、楽しくプログラミング学習に取り組んでいました。



がんばったね！夏休みの課題～ありがとうございます～

今年の夏休みは例年に比べて短かったですが、子どもたちのがんばった様子が提出された課題からも伝わってきます。また、自分で挑戦しようと興味を持ったものに取り組んだ自由研究など、すばらしい作品も数多くありました。保護者の皆様のご協力にも感謝いたします。

帰ってきた！サマーフェスタ

1学期に実施できなかった3年生以上のサマーフェスタを、学年ごとに実施しました。「水鉄砲射的」「水鉄砲鬼ごっこ」「金魚すくい」「スイカ割り」(4年生以上はビーチボールスロー)、そして新たに「シャボン玉」をプラスしました。6年生がうまくリードしてくれ、楽しいフェスタとなりました。なお、参加する際には「帽子をかぶる」などの熱中症対策や、「参加の前後に手を洗う」「マスクをはずしている時は話をしない」「離れて待つ」などの新型コロナウイルス対策のもと実施しています。(金魚すくいでは、4年生以上は本物の「ポイ(薄くて高難度のもの)」も選択可能としました。巨大シャボン玉にも挑戦しました。)



保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていけるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一